

ECOAS

『ECOAS』導入事例

日産トレーディング株式会社様

ECOAS導入で“欲しいものが迅速に手に入る”システムを構築できました。

日産グループの専門商社として機械、鉄鋼、非鉄金属、燃料、化学品を含む自動車関連部品とその原材料・資材の輸入を行う、日産トレーディング株式会社。国内6カ所・海外13カ所をつなぐネットワークを活用することによって世界のダイナミックな動きを読み、お客様の事業の発展に貢献しています。国内各拠点と、グループ会社のニトコビジネスソリューションズ株式会社において『ECOAS』を利用しています。導入の経緯と活用の様子について、経営管理本部 経理・法務グループの岸田誠氏、西館依子氏、人事・総務グループの風祭知之氏、盛田有紀恵氏にお話を伺いました。



経営管理本部 経理・法務グループ
主管 岸田誠氏



経営管理本部 経理・法務グループ
経理チーム
アシスタントマネージャー 西館依子氏



経営管理本部 人事・総務グループ
人事総務サービスチーム
マネージャー 風祭知之氏



経営管理本部 人事・総務グループ
人事総務サービスチーム
アシスタントマネージャー 盛田有紀恵氏



導入効果

ECOASの導入効果について教えてください。

時間の削減

紙を回して行っていた業務がワークフロー上で流れるようになったことにより、ペーパーレス化を図れただけでなく、書類を送る手間の削減、上長不在の際の承認の迅速化など、特に「時間」の工数削減を実感しています。経理側としては経費精算業務にかかる時間がほぼ半減したような感覚です。委託している証憑書類チェックは、スキャナで読み込んだデータをオンラインで確認できるようになりました。海外から即時確認できるので、支払いまでの時間が目に見えて短縮しています。不備がある場合も、委託先から直接従業員へメールで連絡できる仕組みとなり、再申請までの流れが早くなりました。以前は、コピーを残さない限り従業員の手に控えない状態でしたが、ワークフローであればいつでも記録を確認しながら訂正・再申請できます。

手間の削減

ECOASは「駅すばあと®」と連携しているので、経路や交通費を調べる手間がかからず、定期券区間を除外して旅費を算出できる点も便利です。従業員側の入力負荷そのものは、新システム導入で若干増えているのかもしれませんが、トータルで見れば“欲しいものが迅速に手に入る”仕組みが構築されていると思います。

ECOAS導入の背景

ECOAS導入の背景をお聞かせください。

当社では、ビジネスの形態に合わせて独自に開発した仕組みを20年以上使っていました。運用する中でカスタマイズを重ねて進化した結果、ユーザー側にとっては非常に使い勝手の良いものを構築できていた一方で、業務効率化のためにアウトソーシングをする、または海外にビジネスを集中するといった

ことを視野に入れると柔軟性に富むとは言い難く、システムの老朽化の面でもそろそろ限界。その様な理由から、基幹システムのリプレースを行うことになりました。ソリューションを導入するにあたりポイントとなったのは、短期導入、低コスト、ペーパーレス化、ロケーションを問わずに承認活動ができること、多言語対応、webアクセス、保守の外部委託など。それらを叶えるワークフローの仕組み、ということで、ERPパッケージ(「Biz」)の導入が決定し、それに伴い経費精算のシステムも一新する、というのがECOAS導入の背景です。

導入前に抱えていた課題と、改善したかった点をお聞かせください。

経費精算システムの導入における最大の目的は、工数削減でした。中でも特に実現したかったのは「ペーパーレス化」です。以前のシステムでは“紙”を中心に業務が行われていました。金額をインプットした後ブルーリストを印刷し、所属長→経理部門へと回る仕組みです。コンピュータ上でも承認手続きをするのですが、“紙”の確認後に最終処理が行われる仕組みなので、承認者が長期出張をしているときなどは処理が止まってしまう、という問題が起きていました。また、当社は証憑書類のチェックを海外の委託先に業務委託しています。書類が戻ってから支払い業務を行うものもあるので、月次の締めに合わせてバタバタと航空便で往復輸送をする、ということを毎月行っていました。そのため、書類の不備が発生した際の処理速度に限界があるだけでなく、輸送中の紛失のリスクも抱えていました。

ECOAS選定の理由

ECOASをお選びになった理由を教えてください。

経費精算システムに求めた条件は、ペーパーレス化をはじめ、基本的にはERPパッケージと同様でした。求める機能が網羅され、予算内のコストであることを前提としたうえで、決め手となったのは「Biz」会計との連携の相性です。他社でも連携の実績があり、安心してお任せできると判断しました。

リプレイスの目的として、ビジネスや業務のやり方をシステムに合わせていき、できるだけ一般的なスタイルに近づける、ということを重視していました。そのため、導入するソフトは、極力追加開発をせずに運用できるものが理想。そういった意味では、ECOASの多通貨対応の機能は、海外出張の多い当社においてはポイントのひとつでした。

導入の推進について

導入にあたり、ご苦労された点がありますか。

パッケージソフトなので、運用実態に合うところと合わないところがあります。改修可能なところは改修をし、できない部分はソフトに合わせた運用方法を考え、画面に沿って一つひとつ説明していくスタイルの運用マニュアルを作成しました。これがかなり大変な作業で、夏休みを返上して取り組みました。その他にBiz Jと合同で説明会を数回行い、1カ月以上のスパンで2度に渡りトライアルも実施。立上げに関わったメンバーは大改革の苦労をともにし、部署の垣根を超えて親交を深めるといった副産物が生まれました(笑)。

改修したのは、どのような部分ですか。

あらかじめ改修したのは、経費精算の取引先の口座情報を表示、承認者に承認依頼メールを飛ばす、の2点。立上げ後は、再申請の際の一時保存機能追加、デフォルトの日付書式をブランク化の2点です。

本番のスタートはスムーズに行われましたか。

システムがガラリと変わりましたので、やはり、スムーズとは言い難い状況になり、慣れるまでは大変でした。立上げ当初は問合せも多く、入力ミスによるエラーが30~40%にのぼる状態が数か月続きました。差戻し・再申請となる要因は圧倒的に「デフォルトで入る日付を領収書に合わせて修正するのを忘れる」というもの。習熟だけでは限界があると考え、前述したようにブランク化の改修を実施するに至りました。

ALSIIに対する評価と期待

ALSIIの対応について、どのような感想をお持ちですか。

仕組みを一新したので課題が山積みだったのですが、疑問点や要望に対するレスポンスが早く、システム化が難しい部分に関しては“運用でこのようにできます”とアイデアを出していただけるなど、親切に対応していただき助かりました。“聞きやすい”雰囲気を作っていたいただき、真摯に対応してもらえたと感じています。

今後ALSIIに期待することがあれば、教えてください。

他社とのつながりで集積したノウハウを、情報としてぜひ提供していただきたいです。我々は自分の会社のやり方しかわからないので、参考にしながら次へと検討を進め、システムをブラッシュアップしていけるのでは、と考えています。

ECOASの導入を検討している企業に向け、メッセージがあればお願いします。

今回のリプレイスのようにシステムを一新する際は、未習熟による多少の混乱は避けられないものと考えています。そうした中、ECOASは癖のないスタンダードなパッケージソフトなので、習熟さえしてしまえばほぼストレスなく使い続けられる良い製品、と言えるのではないのでしょうか。

お忙しい中、貴重なお話をありがとうございました。



マルチカンパニー対応



ECOAS

for 経費

経費申請 / 精算

駅すばあと連携

会計ソフトインターフェース機能

マスターデータ

for 旅費

旅費精算

出張申請 / 精算

intra-mart Web Platform Ver7.2

ワークフロー

データベースアクセス

セキュリティ

共通マスター

経路検索
定期券除外

STATION

駅すばあと

外部システム連携

Biz J

会計データ

※記載されている会社名及び商品名は各社の商標または登録商標です。※『駅すばあと』は株式会社ヴァル研究所の登録商標です。※このカタログの記載内容は、2021年4月現在のものです。※記載された内容(画面含む)は、改良等により製品と異なる場合があります。

ALSII アールエス システム インテグレーション株式会社

<https://www.alsi.co.jp/> Market@alsi.co.jp

本社 〒145-0067 東京都大田区雪谷大塚町1-7
TEL: 03-5499-8034 FAX: 03-3726-0428

大阪営業所 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島5-13-9 新大阪MTビル1号館7F
TEL: 06-6838-7005 FAX: 050-3000-2077

営業拠点: 東京、古川、仙台、名古屋、大阪、福岡

※ALSII (アルシー) はアルプス システム インテグレーション株式会社のコミュニケーションブランドです。

お問い合わせ、ご用命は下記へお申し付けください。